

## 県立陸上競技場の整備予定地が都城市に決定

宮崎県が検討を進めていた国体施設の整備について、本日、河野宮崎県知事が、県議会において、「県立陸上競技場の整備予定地を都城市に決定」という方針を示されました。宮崎県としての御決断に感謝申し上げますとともに、多くの関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

今回の拠点施設の分散整備により、大規模災害時の後方支援拠点となるとともに、「スポーツランドみやざき」の全県展開が実現することで、競技力の向上はもとより、大会やスポーツ合宿誘致による交流人口の増大や地域振興に大いに資するものと期待しております。

今後は、市民や競技団体等の御理解を得ながら、宮崎県と共同して施設整備の推進に向けて努力し、2巡目宮崎国体を成功に導くことができるよう、しっかりと取り組んでまいります。

### 【これまでの経緯】

- ・平成28年7月 県が陸上競技場の整備候補地の調査を実施。調査に回答
- ・平成28年12月 県が陸上競技場の整備候補地を30候補地から6候補地に絞り込み
- ・平成29年3月 県が陸上競技場の整備候補地を6候補地から2候補地に絞り込み
- ・平成29年9月 県が陸上競技場の整備候補地を「都城市」に決定

### 【当市への「陸上競技場」の整備の要望理由】

- ・山之口運動公園は、地の利も良く、高城運動公園と連携して大規模災害時後方支援の拠点としての役割を果たすことが可能であること、さらに、現在の市営陸上競技場の老朽化に伴う再整備要望があることに加え、当市が進めるスポーツ合宿誘致の拠点となり、県が進める「スポーツランドみやざき」の一翼を十分に担えること等を踏まえ、山之口運動公園を「陸上競技場」の候補地として要望いたしました。

### 【候補地を山之口運動公園とした理由】

- ・当運動公園は、スマートICに至近の距離にあり、大規模災害時後方支援の拠点としての役割を果たすことが可能であると自負しています。さらに、当市の持つ「地の利」を最大限に活かした整備が可能であり、スポーツランドみやざきの全県展開に資することも大きなメリットであると考えたためです。

### 【今後の課題】

- ・具体的な施設整備などに関する議論はまさにこれからであり、さまざまな課題等も出てくるものと考えておりますが、県や地元と連携しながら、しっかりと取り組んでまいります。

### 【期待する効果】

- ・競技力の向上はもとより、大会や合宿誘致による交流人口の増大や、飲食や物販などの拡大による地域振興等につながるものと期待しております。

【問い合わせ】 総合政策課 電話 23-7161